



## 樹木いきいき講座 <その15> 3班 藤原満男



生き物を生産者、消費者、分解者に分けてみます。植物は、木の実や野菜、果物などの食料、薪や炭などの燃料、木材や紙そして酸素を生産します。消費者の動物は、それらを利用し生命を維持します。

分解者の微生物のウィルス、細菌、カビなどの菌類は枯らしたり殺したり小さくします。そしてサステナブル(持続可能な)な世界を構成します。

さて、カビの仲間のシイタケの「ホダ木」は、落葉する前に伐採、葉枯らしをし、2月頃玉切り、植菌します。クヌギ、コナラが最適で、直射日光が当たらないようにします。梅雨前まで仮伏せ(打ち込んだ種駒のしいたけ菌が、原木に入っていくやすいように、保湿管理をする目的で、ブルーシートなどで覆う)し、保湿します。本伏せは、陽が当たらず雨が当たり通風あり排水のよい所に置きます。10月中旬に丸一日水に浸けるといいそうです。枠を作りシートを使えば、狭い所でもできます。

